

農 研 速 報

平成 25 年 11 月 21 日発行



県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(11 月 21 日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	対平年収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4 月 26 日	(あきたこまち) 103 (コシヒカリ) 106	<p>移植後～6 月第 1 半旬は多照条件で経過したが, 6 月第 3, 4 半旬は寡照条件であった。7 月第 2, 3 半旬は極めて高温(平年比+2.1℃)となったことに多照条件も加わり, 出穂期は平年に比べ「あきたこまち」が 5 日, 「コシヒカリ」が 4 日早まった。出穂期以降の 7 月第 4 半旬から 8 月第 1 半旬は低温寡照であったが, その後登熟期の積算平均気温はほぼ平年並であったことから, 「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の成熟期は平年に比べ 5 日早くなった。</p> <p>【あきたこまち】 成熟期の生育は, 平年と比較して稈長・穂長がやや短く, 穂数がやや少なかった。倒伏程度は平年並であった。収量構成要素をみると, 穂数・一穂粒数はやや少なかったため㎡当たり粒数が少なく, 千粒重は平年並, 登熟歩合は高かった。㎡当たり粒数が少なかったものの, 登熟歩合が高まったことで, 玄米重は平年比 103%とやや多かった。 玄米外観品質は, 青未熟粒, 乳白粒, 背白粒などの発生が少なく, 整粒歩合が平年より高かった。</p> <p>【コシヒカリ】 成熟期の生育は, 平年と比較して稈長がやや短く, 穂長がやや長く, 穂数が平年並であった。倒伏程度は平年並であった。 収量構成要素をみると, 穂数は平年並であったが一穂粒数は多かった。千粒重・登熟歩合は平年並であった。㎡当たり粒数が平年を上回ったため, 玄米重は平年比 106%と多かった。 玄米外観品質は, 青未熟粒, 心白粒, 背白粒などの発生が少なく, 基白粒がやや多かったが, 整粒歩合は平年よりやや高かった。</p>

			<p>【ふくまる】</p> <p>出穂期は「あきたこまち」より4日遅く、「コシヒカリ」より7日早かった。成熟期は「あきたこまち」より5日遅く、「コシヒカリ」より5日早かった。</p> <p>玄米重は「あきたこまち」の121%、「コシヒカリ」の118%と多収で、倒伏程度は「あきたこまち」よりやや大きく、「コシヒカリ」と同等であった。</p> <p>玄米外観品質は、「あきたこまち」の整粒歩合とほぼ同等で高く、「コシヒカリ」と比較し乳白粒、基白粒の発生が少なく「コシヒカリ」より整粒歩合がやや高かった。</p>
--	--	--	--

地域名	移植時期	対平年収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	5月7日	(あきたこまち) 107 (コシヒカリ) 108	<p>移植後～6月第1半旬は多照条件で経過したが、6月第3、4半旬は寡照条件であった。7月第2、3半旬は極めて高温(平年比+2.1℃)になったことに多照条件も加わり、「あきたこまち」の出穂期は平年に比べ6日早まった。「コシヒカリ」の出穂期は7月第4半旬から8月第1半旬に低温寡照となり平年に比べ1日早い程度となった。その後登熟期は積算平均気温がほぼ平年並であり、成熟期は「あきたこまち」が6日早く、「コシヒカリ」が1日早くなった。</p> <p>【あきたこまち】</p> <p>成熟期の生育は、平年と比較して稈長がやや短く、穂長・穂数が平年並であった。倒伏程度は平年並であった。</p> <p>収量構成要素をみると、穂数は平年並だが一穂粒数がやや多かったため㎡当たり粒数はやや多かった。千粒重はやや重く、登熟歩合は平年並であった。㎡当たり粒数がやや多く、千粒重がやや重いいため、玄米重は平年比107%と多かった。</p> <p>玄米外観品質は、背白粒などの発生が少なく、整粒歩合は平年よりやや高かった。</p> <p>【コシヒカリ】</p> <p>成熟期の生育は、平年と比較して稈長がやや短く、穂長がやや長く、穂数がやや少なかった。倒伏程度は平年並であった。</p> <p>収量構成要素をみると、穂数はやや少なかったが一穂粒数が多かったため㎡当たり粒数は多かった。千粒重及び登熟歩合は平年並であった。㎡当たり粒数が平年を上回ったため、玄米重は平年比108%と多かった。</p> <p>玄米外観品質は、乳白粒、基白粒の発生が多く、整粒歩合は平年より低かった。玄米外観品質が低下した要因は、出穂後15～20日の間の高温(8月第2～4半旬)による影響と考えられる。</p>

水 稻 の 生 育 状 況

表1 移植期・品種別生育・収量(龍ヶ崎市)

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0~5)	前年差	平年差
4.26	あきたこまち	7/12	-5 (7/17)	-5 (7/17)	8/18	-1 (8/19)	-5 (8/23)	79	105 (75)	96 (82)	17.4	110 (15.9)	97 (18.1)	490	87 (561)	97 (507)	1.5	+1.2 (0.3)	-0.1 (1.6)
	コシヒカリ	7/23	-4 (7/27)	-4 (7/27)	8/28	-3 (8/31)	-5 (9/2)	89	108 (83)	97 (92)	19.3	114 (17.0)	107 (18.1)	472	91 (518)	99 (477)	2.8	+1.3 (1.5)	-0.1 (2.9)
	ふくまる	7/16	- (-)	- (-)	8/23	- (-)	- (-)	82	- (-)	- (-)	19.0	- (-)	- (-)	519	- (-)	- (-)	2.5	- (-)	- (-)
5. 7	あきたこまち	7/15	-6 (7/21)	-6 (7/21)	8/21	-3 (8/24)	-6 (8/27)	82	108 (77)	97 (84)	18.2	108 (16.9)	101 (18.1)	498	91 (547)	99 (505)	2.0	+1.2 (0.8)	+0.1 (1.9)
	コシヒカリ	7/29	-2 (7/31)	-1 (7/30)	9/4	±0 (9/4)	-1 (9/5)	90	104 (86)	97 (93)	18.8	107 (17.6)	102 (18.4)	442	87 (510)	95 (465)	2.8	+0.8 (2.0)	-0.1 (2.9)

移植 時期 (月日)	品 種	玄米重			1穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
4.26	あきたこまち	59.3	98 (60.5)	103 (57.9)	66	110 (60)	96 (68)	323	96 (337)	93 (346)	20.8	101 (20.5)	99 (21.1)	89	99 (89)	112 (79)
	コシヒカリ	60.7	99 (61.2)	106 (57.3)	75	123 (61)	109 (69)	356	113 (314)	108 (328)	21.3	98 (21.8)	99 (21.5)	81	92 (88)	100 (81)
	ふくまる	71.6	- (-)	- (-)	66	- (-)	- (-)	343	- (-)	- (-)	23.8	- (-)	- (-)	87	- (-)	- (-)
5. 7	あきたこまち	62.2	101 (61.7)	107 (58.1)	66	113 (59)	104 (64)	330	103 (320)	103 (321)	22.1	101 (21.8)	102 (21.6)	85	97 (88.0)	101 (83.9)
	コシヒカリ	62.0	104 (59.9)	108 (57.3)	79	129 (61)	117 (67)	348	112 (310)	111 (312)	21.4	99 (21.6)	99 (21.6)	83	92 (90.8)	98 (84.9)

()内は前年または平年の実数値を示す

表2 移植期・品種別玄米品質(龍ヶ崎市)

移植期 (月日)	品 種	整 粒 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			基白粒 (%)			背白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4.26	あきたこまち	96.2	+5.5 (90.7)	+8.5 (87.7)	0.3	-1.7 (2.0)	-1.3 (1.6)	0.8	-0.7 (1.5)	-3.5 (4.3)	0.3	-0.7 (1.0)	-0.7 (1.0)	0.4	-0.1 (0.5)	±0 (0.4)	0.3	-0.6 (0.9)	-1.4 (1.7)
	コシヒカリ	89.8	-1.4 (91.2)	+4.0 (85.8)	0.6	-0.5 (1.1)	-1.7 (2.3)	5.1	+2.9 (2.2)	-0.7 (5.8)	0.6	-0.1 (0.7)	-1.4 (2.0)	2.0	+1.7 (0.3)	+1.3 (0.7)	0.1	-0.3 (0.4)	-1.6 (1.7)
	ふくまる	94.3	- (-)	- (-)	1.8	- (-)	- (-)	1.1	- (-)	- (-)	0.3	- (-)	- (-)	0.3	- (-)	- (-)	0.0	- (-)	- (-)
5.7	あきたこまち	93.7	+2.5 (91.2)	+4.4 (89.3)	0.8	-2.1 (2.9)	-0.7 (1.5)	2.4	+1.0 (1.4)	-0.4 (2.8)	0.3	±0 (0.3)	-0.3 (0.6)	0.7	+0.3 (0.4)	+0.3 (0.4)	0.4	-0.9 (1.3)	-2.9 (3.3)
	コシヒカリ	79.1	-9.9 (89.0)	-9.0 (88.1)	0.5	-2.5 (3.0)	-1.4 (1.9)	8.9	+6.4 (2.5)	+4.4 (4.5)	1.3	+0.8 (0.5)	-0.4 (1.7)	7.5	+7.1 (0.4)	+6.9 (0.6)	0.8	+0.6 (0.2)	+0.2 (0.6)

移植期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4.26	あきたこまち	0.2	-0.9 (1.1)	-1.0 (1.2)	1.6	+0.1 (1.5)	-0.3 (1.9)
	コシヒカリ	0.5	-0.9 (1.4)	+0.1 (0.4)	1.3	-0.8 (2.1)	-0.1 (1.4)
	ふくまる	0.8	- (-)	- (-)	1.4	- (-)	- (-)
5.7	あきたこまち	0.3	-0.4 (0.7)	-0.1 (0.4)	1.5	+0.3 (1.2)	-0.2 (1.7)
	コシヒカリ	0.7	-0.3 (1.0)	±0 (0.7)	1.2	-1.8 (3.0)	-0.6 (1.8)

注)目視による調査

【栽培概要】

1. 苗質：稚苗
2. 植え付け本数：5本/株
3. 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/m²
ふくまる 18.5株/m²
4. 基肥量 あきたこまち N : P₂O₅ : K₂O = 0.7 : 0.7 : 0.7 (kg/a)
コシヒカリ N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 0.6 : 0.6 (kg/a)
ふくまる N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 0.8 : 0.8 (kg/a)
5. 追肥時期及び追肥施用量
(4月26日移植) あきたこまち 6月27日 N : P₂O₅ : K₂O = 0.3 : 0.0 : 0.3 (kg/a)
コシヒカリ 7月11日 N : P₂O₅ : K₂O = 0.3 : 0.0 : 0.3 (kg/a)
ふくまる 7月 1日 N : P₂O₅ : K₂O = 0.4 : 0.0 : 0.4 (kg/a)
(5月7日移植) あきたこまち 7月 1日 N : P₂O₅ : K₂O = 0.3 : 0.0 : 0.3 (kg/a)
コシヒカリ 7月13日 N : P₂O₅ : K₂O = 0.3 : 0.0 : 0.3 (kg/a)
6. 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価

【玄米外観品質】

その他は、他未熟粒・被害粒・着色粒・死米を合計したもの

【平年値】

平成20～24年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため平年値なし

